

2026 年 8 月 24 日

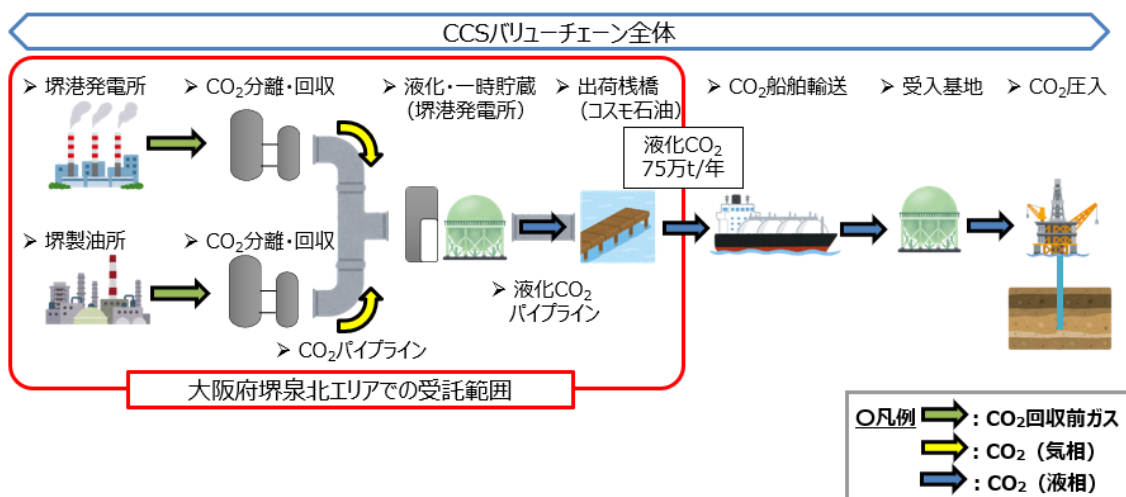
コスモ石油株式会社

関西電力株式会社

令和 8 年度「先進的 CCS 事業 船舶輸送案件に係る分離回収・液化・一時貯蔵・出荷設備の設計作業等」に関する業務の受託

コスモ石油株式会社（以下、「コスモ石油」）および関西電力株式会社（以下、「関西電力」）は、独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構（以下、「JOGMEC」）の令和 8 年度「先進的 CCS 事業 船舶輸送案件に係る分離回収・液化・一時貯蔵・出荷設備の設計作業等」に関する公募において、両社が共同で検討する大阪府堺泉北エリアでの CCS※1 事業に係る業務を 8 月 21 日に受託しました。

<CCSバリューチェーン概念図>



本委託業務では、両社が同エリアで運営する関西電力堺港発電所およびコスモ石油堺製油所から排出されるCO₂を分離・回収し、堺港発電所にて共同で液化・貯蔵したのち、コスモ石油の棧橋から貯留地に出荷するまでの設備に関する設計作業を行います。過年度までの検討結果を踏まえ、液化・貯蔵・出荷設備の共用化による効率的な設備構成の検討を進めます。なお、両社合計で年間約75万トンのCO₂出荷を想定しています。

両社はこれまで、JOGMECの「先進的 CCS 事業に係る設計作業等」に関する業務を受託し、大阪府堺泉北エリアにおける CCS バリューチェーン構築に向けた検討を進めてきました。

【2024 年 10 月 10 日 [お知らせ](#)済み】

両社は、同エリアに CO2 排出源※2 を持つ他事業者との協業も視野に、エリア全体での CCS バリューチェーンの構築に向けた検討を進め、ゼロカーボン社会の実現に貢献していきます。

※1：CCS(Carbon dioxide Capture and Storage)とは、排ガスから CO 2 を回収し、地中等に貯留する技術

※2：工場、発電所など、CO 2 を排出する事業所

以上